

特別支援学校における教室不足の解消及び長時間通学の解消について

1. 概要

- これまで、特別支援学校の過大化による教室不足や長時間通学の解消のため、新設校の設置や校舎の増築、スクールバスの増車に取り組んできた。
- しかしながら、三好特別支援学校（知的障害）では、隣接地域の特別支援学校の新設により、一旦は教室不足の緩和が図られたが、通学区域（豊田市・日進市・みよし市・東郷町）における児童生徒数は依然として増加しており、教室不足が顕在化してきている。
- また、港特別支援学校（肢体不自由）では、名古屋東部地区（緑区、名東区、天白区）、豊明市、日進市、東郷町の肢体不自由児童生徒が通学するに当たり、運行しているスクールバス6台の平均運行時間が60分を超えており、長時間通学が課題となっている。
- こうした状況に対して、豊田市から南山国際高等学校・中学校跡地を候補地とした知的障害特別支援学校の新設について、また名古屋市からは天白学校体育センターを候補地とした肢体不自由特別支援学校の新設についてそれぞれ強い要望があり、このたび両市との調整が整ったことから、2027年4月の開校を目指して基本設計費を6月補正予算で計上するものである。

<これまでの新設（増築）状況>

| 設置年度 | 学校名 ()は分校 []は分教室 ゴシックは県立 | 障害種 | | | | |
|------|----------------------------------|------|----|-------|----|----|
| | | 知的障害 | | 肢体不自由 | | 聾 |
| | | 県立 | 市立 | 県立 | 市立 | 県立 |
| 2014 | 県立いなざわ特別支援学校 | ○ | | | | |
| | [県立豊橋特別支援学校山嶺教室] | ○ | | | | |
| | (瀬戸市立瀬戸特別支援学校光陵校舎) | | | | ○ | |
| 2015 | 豊橋市立くすのき特別支援学校 | | ○ | | | |
| | (名古屋市立南養護学校分校) | | ○ | | | |
| 2018 | 県立大府もちのき特別支援学校 | ○ | | | | |
| | 刈谷市立刈谷特別支援学校 | | | | ○ | |
| 2019 | 県立瀬戸つばき特別支援学校 | ○ | | | | |
| 2020 | 県立みあい特別支援学校《増築》 | ○ | | | | |
| | [県立豊橋特別支援学校潮風教室] | ○ | | | | |
| 2021 | 名古屋市立守山養護学校《増築》 | | ○ | | | |
| 2022 | 県立にしお特別支援学校 | ○ | | ○ | | |
| 2023 | (県立千種聾学校ひがしうら校舎) | | | | | ○ |

2. 西三河北部地区新設特別支援学校の設置（知的障害）

- 隣接地域にある特別支援学校との位置的なバランスが良いほか、豊田市の山間部からの長時間通学も改善することが期待されることから、豊田市内に新設校を設置し、三好特別支援学校の教室不足解消を図る。
- 設置場所
豊田市かめくびちょう亀首町地内（南山国際高等学校・中学校跡地、豊田市所有）
- 通学区域
豊田市（南西部を除く。）
- 施設規模

| 構造・規模 | 校舎内の主な設置教室等 |
|-----------------|---|
| 鉄骨造3階 7,720㎡ | 普通教室：41室 管理諸室：校長室、事務室、職員室、会議室、保健室、図書室、相談室等 特別教室：理科室、美術室、音楽室、調理室、多目的室、自立活動室等 その他：給食室、エレベータ、食堂、体育館、プール、バスステーション等 |

- 開校予定年度
2027（令和9）年4月

3. 名古屋東部地区新設特別支援学校の設置（肢体不自由）

- 名古屋東部地区における港特別支援学校への長時間通学を解消するために適切な立地であることから、名古屋市天白区内に新設校を設置する。
- 設置場所
名古屋市天白区すげた菅田一丁目地内（天白学校体育センター、名古屋市所有）
- 通学区域
名古屋市東部（緑区、名東区、天白区）、豊明市、日進市、東郷町
- 施設規模（面積）

| 構造・規模 | 校舎内の主な設置教室等 |
|-----------------|--|
| 鉄骨造3階 7,964㎡ | 普通教室：24室 管理諸室：校長室、事務室、職員室、会議室、保健室、医療的ケア室等 特別教室：理科室、美術室、音楽室、調理室、多目的室、自立活動室等 その他：給食室、エレベータ、体育館（既存施設を活用）、水治訓練室、バスステーション等 |

- 開校予定年度
2027（令和9）年4月

4. 6月補正予算案

○ 6月議会に、特別支援学校校舎整備に係る補正予算案を提出する。

| 対象校 | 予算額(千円) | 内容 |
|---------------------|---------|-----------------------------------|
| 西三河北部地区 新設特別支援学校 | 122,793 | ○各種調査費(地質調査、地歴調査等) ○基本設計費 |
| 名古屋東部地区 新設特別支援学校 | 101,776 | ○各種調査費(地質調査、地歴調査、整備調査等) ○基本設計費 |
| 合計 | 224,569 | |

5. 施設整備スケジュール

| 年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 |
|---------------------|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 西三河北部地区 新設特別支援学校 | 各種調査 基本設計 | 実施設計 | 建設工事 | | 開校 |
| 名古屋東部地区 新設特別支援学校 | 各種調査 基本設計 | 実施設計 | 建設工事 | | 開校 |

(参考1) 西三河北部地区新設特別支援学校設置による教室不足の解消状況

※2023年4月1日現在の児童生徒数を基に算出した将来推計

三好特別支援学校

| 区分 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童生徒数(人) | 354 | 381 | 406 | 419 | 258 | 271 | 278 | 286 |
| 学級数 | 66 | 70 | 73 | 76 | 48 | 49 | 49 | 50 |
| 不足教室数 | ▲8 | ▲12 | ▲15 | ▲18 | 10 | 9 | 9 | 8 |

※このうち授業に支障が生じているのは▲6

171人
豊田市(南西部を除く)を移行する。

西三河北部地区新設特別支援学校

| 区分 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童生徒数(人) | / | / | / | / | 209 | 215 | 219 | 216 |
| 学級数 | / | / | / | / | 38 | 40 | 40 | 41 |

【開校】
新設校学級数

38人
豊田市山間部を移行する。

瀬戸つばき特別支援学校

| 区分 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童生徒数(人) | 282 | 293 | 293 | 293 | 251 | 249 | 251 | 252 |
| 学級数 | 51 | 52 | 51 | 52 | 46 | 45 | 45 | 47 |
| 不足教室数 | ▲2 | ▲3 | ▲2 | ▲3 | 3 | 4 | 4 | 2 |

(参考2) 名古屋東部地区新設特別支援学校設置による長時間通学の解消状況

○港特別支援学校の現状(2022年度) (単位:人) 訪問・施設内教育を除く

| 通学区域 | 学区 | 小学部 | 中学部 | 高等部 | 計 | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|---------------------|
| | | | | | | | |
| 通学区域 | 緑区 | 16 | 7 | 7 | 30 | 64 | 新設校の 通学区域 |
| | 名東区 | 3 | 5 | 0 | 8 | | |
| | 天白区 | 5 | 1 | 3 | 9 | | |
| | 豊明市 | 7 | 3 | 2 | 12 | | |
| | 日進市 | 1 | 0 | 2 | 3 | | |
| | 東郷町 | 0 | 1 | 1 | 2 | 117 | 新設校 開校後の 通学区域 |
| | 千種区 | 4 | 2 | 4 | 10 | | |
| | 昭和区 | 5 | 4 | 1 | 10 | | |
| | 瑞穂区 | 4 | 3 | 1 | 8 | | |
| | 熱田区 | 7 | 5 | 2 | 14 | | |
| 中川区 | 8 | 5 | 6 | 19 | 通学区域外 | | |
| 港区 | 6 | 10 | 7 | 23 | | | |
| 南区 | 11 | 8 | 5 | 24 | | | |
| 計 | 81 | 56 | 44 | 181 | | | |

希望者を受け入れ

○新設校通学区域の特別支援学級(肢体不自由)児童生徒数 (単位:人)

| | 小学校 | 中学校 | 計 |
|------------------------|-----|-----|----|
| 緑区、名東区、天白区、豊明市、日進市、東郷町 | 28 | 8 | 36 |

○新設校通学区域のスクールバス所要時間

| 通学区域 | スクールバス所要時間・運行経路 | 新設校設置後の所要時間(目安) |
|------|--|-----------------|
| 緑区 | 最長73分(神の倉～学校間) 緑区神の倉→緑区籠山西→緑区下汐田→(南区港東通→)学校 緑区清水山→緑区競馬場→(南区氷室)→学校 緑区潮見が丘→天白区相生→(南区鶴里→瑞穂区豊岡通→)学校 | 54分 |
| 名東区 | 69分 名東区勢子坊→天白区下原→天白区大根→(南区薬師通→)学校 | 40分 |
| 天白区 | 最長47分(下原～学校間) (名東区勢子坊→)天白区下原→天白区大根→(南区薬師通→)学校 (緑区潮見が丘→)天白区相生→(南区鶴里→瑞穂区豊岡通→)学校 | 18分 |
| 豊明市 | 緑区の最寄りのバス停まで保護者が送迎 | — |
| 日進市 | 天白区の最寄りのバス停まで保護者が送迎 | |
| 東郷町 | 緑区の最寄りのバス停まで保護者が送迎 | |

(参考3) 西三河北部地区新設特別支援学校通学区域

豊田市 (南西部を除く。)

- 三好特別支援学校から・・・豊田市南西部 (※7中学校区) を除く豊田市中学校区 (※上郷、高岡、竜神、逢妻、若園、前林、末野原各中学校区：三好特別支援学校の通学区域から変更なし)
- 瀬戸つばき特別支援学校から・・・豊田市山間部
*三好特別支援学校の教室不足解消と合わせて、瀬戸つばき特別支援学校の長時間通学解消を図る。

現行



新設校開校後



(参考4) 名古屋東部地区新設特別支援学校通学区域



(参考5) 西三河北部地区新設特別支援学校(知的障害) 位置図



地図データ 「マップあいち」より引用

【敷地の状況】

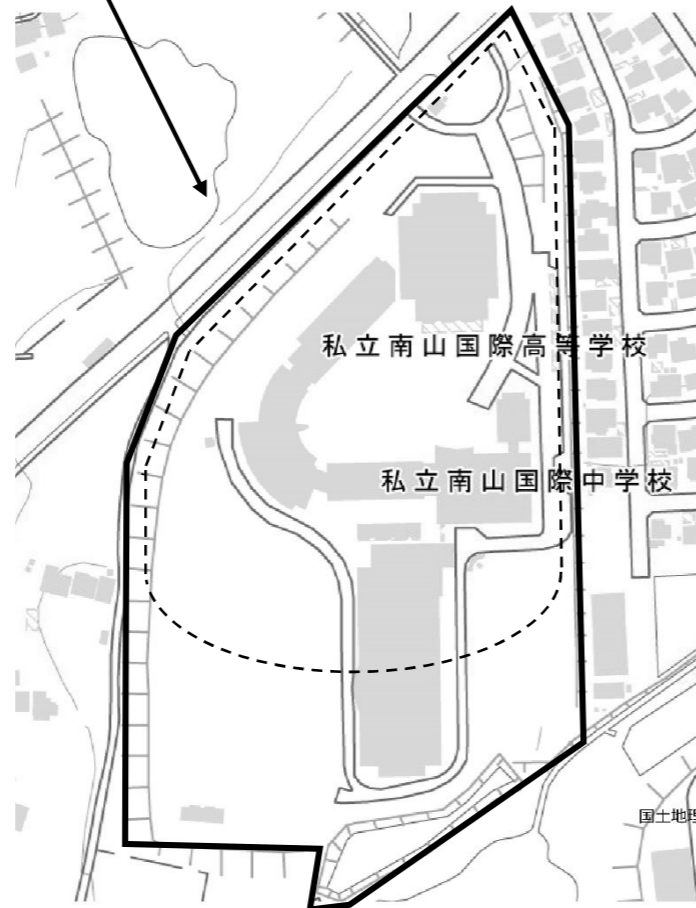
南山国際高等学校・中学校跡地

—— 敷地全体面積

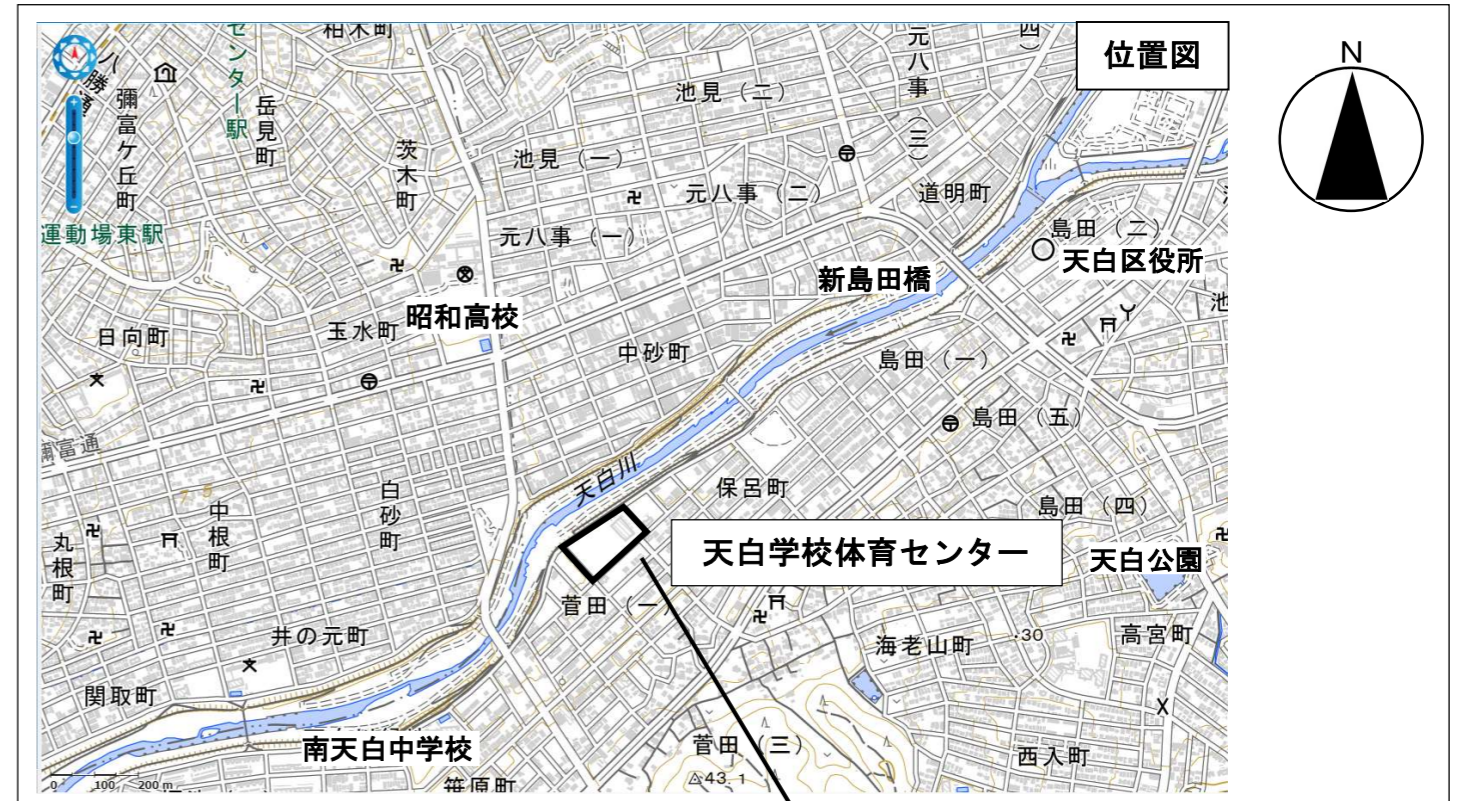
49,127 m²

- - - - うち学校敷地想定

31,000 m²程度



(参考6) 名古屋東部地区新設特別支援学校(肢体不自由) 位置図



地図データ 「マップあいち」より引用

【敷地の状況】

天白学校体育センター

—— 敷地全体面積

13,601 m²

